



1968年1月20日設立  
2018-2019年度  
国際ロータリー第2750地区多摩中グループ



# 東京昭島ロータリークラブ

会長・坂山浩二 幹事・畢 焜

会長テーマ “Be The Rotarian” 真のロータリアンになるろ”

昭島市・昭和の森

2018年10月25日発行 VOL. 51-15

## 第2473回 2018年10月18日(木) 例会報告

BGM 「Clapton Chronicles」

Eric Clapton

〇司会 米山奨学委員会 阿島征夫 委員長

【開会点鐘】12時30分 坂山浩二 会長



〇昭島観光町づくり協会 堀井 様



昭島の四季カレンダー2019年度版が出来上がりました。

〇野村芳樹 会員

10月12日に母が亡くなりました。通夜、告別式には皆様方よりお気遣いいただきありがとうございました。

5年ほど前より体調をくずし入退院を繰り返し、2年ほど前より私共の昭和の森病院に入院しております。毎日枕元に行って声かけするのが日課でした。最期は私が看取ることが出来て多少なりとも親孝行ができたのかなと思っています。



【訃報】クラブの会員でありました濱島璋好会員が10月15日に逝去されました。葬儀は家族葬でご案内は控えさせていただきます。本日は黙祷を捧げたいと思います。“黙祷”



慎んで濱島様のご冥福をお祈り申し上げます。

※2010年8月26日第2090回例会週報に演題「入会五年を振り返って」の卓話が掲載されています。

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ソングリーダー 竹前理映子 会員

来訪者紹介

卓話講師 地区米山奨学委員長

遠藤泰夫 様

会務報告

坂山浩二 会長



- 受付に伊藤会員のお孫様“ふじはし あすか”さんがお書きになった絵本を追加で10部お持ちいただきました。
- 昭島まちづくり新年賀詞交歓会第1回実行委員会が開催されました。概ねの計画が発表され承認されました。日時2019年1月8日(火)シルバンホールで開催されます。

当クラブは例会扱いとして、前段で例会を行います。

- クラブ目標に一人平均20,000円とありますが目標は達成致しましたのでご報告致します。11月は財団月間がありますが、目標に達成しておりません。よろしくお願い致します。
- 当クラブで支援しておりますASAPの大沼副理事長が先日お見えになりましたが、品川RCの会長より売り物にはならないサンプルカーテンが大量にあり、ご活用頂きたいという申し出がありました。品川RCから昭島RCとの共同プロジェクトにして大きく育てていきたいという提案を頂きましたので、明日大沼様と品川RCに伺い検討したいと思います。

幹事報告

畢 焜 幹事

- 東京米山友愛RCより卓話の案内が届いています。日時 11月10日(土)10時～ テーマ「平和フォーラム 広島における被爆体験」
- 地区より2019年度米山奨学学生選考委員の募集の案内。面接官になるためのセミナーの受講(11月27日(火)15時～17時)、選考試験に参加出来ること(12月11日(火))とクラブの推薦が条件になっています。
- “ハイライト米山10月号”は各テーブルにファイルされていますのでご覧下さい。



米山功労者感謝状贈呈

受贈者 雨倉寿久 会員  
(第3回マルチプル)

左より 畢 幹事、雨倉寿久会員  
坂山会長



RLI 卒業証書授与

受贈者 相田禎延 会員

左より 畢 幹事、相田禎延会員  
坂山会長



チーム報告

親睦活動出席チーム



出席報告

丸鶴信一 委員

会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席
54名	6名	48名	44名
事前メイクアップ		本日の出席率	
2名		88.46%	
事前メイクアップ 小山(満)会員、植松会員			
10月31日 柳 会員、大貫会員			
出席率 80.77%に訂正			

## 親睦活動出席チーム会報告

河辺光利 チームリーダー



10月10日(水)に開催致しました。  
 この会の目的は12月20日(木)に行われる「クリスマス例会」の打ち合わせがメインでした。  
 その後、チームの懇親を図る事で行いました。メンバー全員の出席を頂き、さらに畢幹事、石坂さんにもお越し頂きました。  
 メインの会議は5分くらいで終了し、後は飲みながら2~3時間かけて、懇親を図りながらクリスマスのおし物などについて話し合いました。  
 最終的に催し物などいろいろなことについて決まり、当日の「クリスマス例会」は大いに盛り上がる事と思います。

## 親睦活動出席チーム

ニコニコBOX発表

高橋文博 委員



地区米山奨学委員長遠藤泰夫様、  
 本日は卓話宜しくお願ひ致します。  
 相田会員、RLIご卒業おめでとうございませう。

畢 幹事 地区米山奨学委員長遠藤泰夫様、  
 卓話をよろしくお願ひします。  
 卓話講師の手配をして下さった柳管理運営委員長に感謝です。雨倉会員、あっぱれ!

伊藤会員 絵本10冊孫の気持ちをにこにこへ!

山上会員 久しぶりに例会に参加出来ました。元気になり例会に参加出来ることに感謝して。

本日の合計	49,000円
累計	828,400円
予算達成まで	1,471,600円

## 【卓話】

卓話講師紹介 柳 賢司 地区米山選考副委員長

<遠藤泰夫様のプロフィール>

所属 東京武蔵府中RC

2010-11年度 地区米山に向出

2014-15年度 選考委員長を拝命

2015-16年度 米山奨学委員会選考・学友・

2016-17年度 推進の専門委員会を歴任

2017-18年度 専門委員会を統括する米山奨

学委員会副委員長を拝命

2018-19年度 米山奨学委員長を拝命、米山に関してのベテランでいらっしゃいます。



## テーマ「米山奨学事業について」

地区米山奨学委員長 遠藤泰夫 様



昭島RCには柳さんに長く出向いただき、昨年は選考委員長で大変ご活躍頂きました。本年は私共の委員会でお世話になっております。

昭島RCには井上さんが米山委員長をされて、そのときにいろいろとご指導頂きましたので、皆様の前で米山の卓話をするというのは、大変おこがましいと思っておりますが、お役目ですので卓話をさせていただきます。

皆様のお手元に新しい「ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」」が届いていると思います。又、「ロータリーの友」にも数頁にわたり米山について今月号に記載されております。併せてお読み頂いていると思いますが、今日は「豆事典」に沿いながらご説明させていただきます。

「米山」という名前がついているから、「米山梅吉さん」が作ったと思われる方が多くいらっしゃいます。「米山事業」は日本ロータリーが作った独自の事業で、1952(昭和27)年に事業が始まって以来、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。なぜ外国人を支援しているのか? 日本の貧困した学生の支援がなぜ出来ないのか? という話を多くのロータリアンから頂きます。米山奨学事業は公益財団法人「ロータリー米山記念奨学会」定款第二章「目的及び事業」第三条に載っております。「この法人は勉学または研究のため来日し、我が国の大学と教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、因ってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与する事を目的とする」と定められています。私たち委員会は定款の定めによって、この奨学事業或いは奨学生の選考を行っていくと云うことになっております。私たちが単独で日本の貧困した学生に対して支援をする事を勝手に決めるわけにも行きません。この点についてご理解頂ければと思います。又財源が皆様方からのご寄付からということは皆様方ご存じの通りです。この事業の一番大きな特徴は、世話クラブとカウンセラー制度があるということです。昭島RCには張季媛さんが昨年よりお世話になっております。先ほど米山に多額の寄付をされました雨倉会員がおっしゃっていました通り、米山の奨学

事業は人材を育成する事業ですから、皆様方が奨学生をどのように育てていくかと云うことも重要だと思ひます。その奨学生が皆様方とどのように接して、どのように育っていくか、ということが一番重要なかなと思ひます。1946(昭和21)年に米山梅吉さんが亡くなってから、米山さんの功績を永遠にしのおぶことが出来ないかと始まった事業です。1967(昭和42)年に財団が設立され、昨年50周年を迎え式典が行われました。

この事業は日本独自の事業として発展しましたが、ロータリーの中で国際ロータリーとある一線を引いてきたというのが大きな所だと思ひます。財団の奨学生と同じように、米山の奨学生もロータリーファミリーとして我々は受け入れてきました。その中で2004(平成16)年11月のRIの理事会で財団法人「ロータリー米山記念奨学会」を賞賛するとされ、これ以来「ロータリー米山記念奨学会」は多地区合同奉仕活動(現在は多地区合同活動)の手続きをとることによってロータリーの名称やロータリーのマークを続けて使用する事を認める事が決議されました。2007(平成19)年に全34地区から同意を得て、名実ともに日本全クラブの多地区合同活動になりました。

2014(平成26)年1月のRI理事会では、学友の定義が拡大されました。米山学友はロータリーの学友の一員なることになりました。2017年(平成29)年8月26日に世界学友会組織が設立されました。当日熊本において設立総会が開催されました。

米山奨学事業は今年度、852名で累計では20,000名を超えています。その中で国・地域別に見ますと、中国、韓国が大変に多いですが、最近ではベトナムが多くなってきています。

奨学金制度は、①学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金 ②クラブ支援ロータリー米山記念奨学金 ③海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金 ④海外学友会推薦ロータリー米山記念奨学金の4つに分かれています。

奨学生の選考は、①留学の目的がはっきりしているか ②交流への熱意があるか ③人柄 ④コミュニケーション能力の可否 ⑤その他 などについて選考し、今年度は12月11日に行われます。皆様方より選考委員を募集して、面接選考をして頂きます。選考時間は地区で30名の奨学生を採用する場合、90名の奨学生を各大学から推薦して頂きます。90名を一日で面接致します、一人あたり20分程度です。この時間で人の判断は大変に難しいことですが、選考していきます。

※詳細は配布「豆辞典」でご確認下さい。

## 謝辞・記念品贈呈

左より 畢 幹事  
 遠藤泰夫地区米山奨学委員長  
 坡山会長



## 点鐘閉会

坡山浩二 会長



## 例会案内

11月1日(木) 第2475回例会  
 卓話「私の履歴書」